

東北会病院 新人看護師研修会

～フィジカルアセスメントと急変時の初期対応～

6月27日と7月12日の2回に分けて、東北会病院の新人看護師計14名を対象とした研修会がスキルスラボで開催されました。講師はスキルスラボの須藤看護師が務めました。

まず、午前の部では、「12誘導心電図の装着の仕方・呼吸のアセスメント・脳神経のアセスメント」の内容を実施しました。12誘導心電図では『フィジカルアセスメントモデル・フィジコ』を用いて、肋骨の位置を確認し正しく電極を貼る手技を行いました。呼吸のアセスメントでは、『呼吸音聴診シミュレータ・ラング』を使用し、異常肺音の聴取を繰り返し行いました。また、脳神経のアセスメントについては、スライド資料を用いて知識を深めました。

続いて午後の部では、「一次救命処置・急変時対応・静脈ラインの確保と筋肉注射」を実施しました。一次救命処置では、アメリカ心臓協会のFamily & Friendsコースを実施し、人形を用いて胸骨圧迫やバッグ換気、AEDの使用について一連の流れを学習しました。急変時対応では、ベッドサイドを想定した急変時の対応についてシナリオトレーニングを行いました。午前中に実施したフィジカルアセスメントの内容を生かし、現場に即した演習を行うことができました。最後は、シミュレータを用いて静脈ラインの確保と筋肉注射について実施し、受講者のみなさんは、患者さんへの声かけや、衛生面で注意する点などを互いに確認し合い、大変熱心に取り組んでいました。

多岐にわたる内容で緊張感のある1日でしたが、受講生のみなさんにとって、今後看護の現場で実践できる、大変有用な研修会となりました。

